

# 公開セミナー

《日本カトリック正義と平和協議会》《NCC平和・核問題委員会》共催

# 『核と平和』

(全体テーマ)

二週連続の公開セミナーです(無料)。どうぞおいでください。(★講師紹介は裏面に)  
※会場は、それぞれ下記となります。

1月19日(土) 13:30~16:00

ニコラ・バレ 9階ホール

テーマ:「沖縄と平和」

カトリック教会那覇教区に着任されたウェイン司教、  
沖縄出身で日本キリスト教団川和教会の平良愛香牧師。

お二人による  
講演と対談。

まず宗教的・倫理的課題  
として共に考えましょう

1月26日(土) 13:30~16:30

イグナチオ教会ヨセフホール

テーマ:「核と基地」

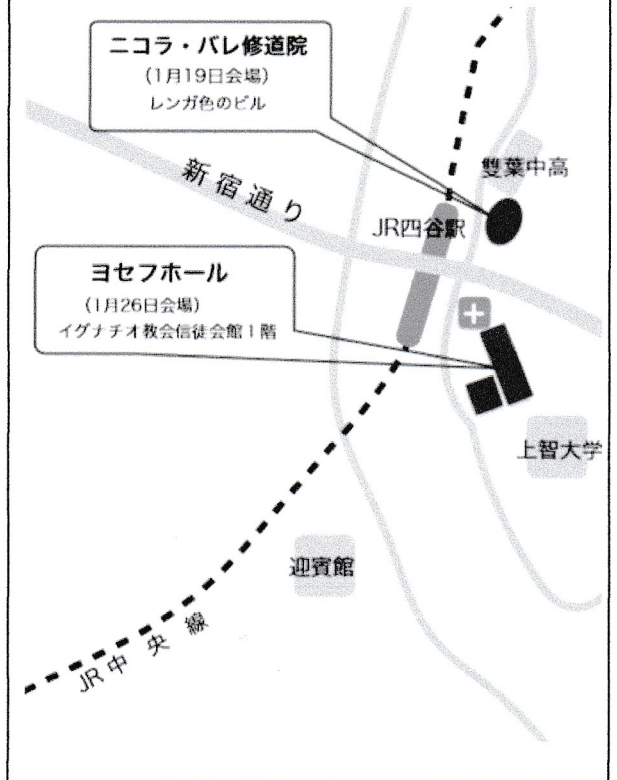
『核の戦後史』共著の木村朗さん(鹿児島大学法文学部  
教授、平和学会理事)と高橋博子さん(名古屋大学大学  
院法学研究科研究員)による講演と、平良愛香牧師との  
三人によるパネル  
ディスカッション。

“戦後史の謎を解くカギは「核」  
にある”(上記著帯)との切り口  
も得て解決策を見つけましょう

19日は、ニコラ・バレ 9階ホール

26日は、ヨセフホール

(ともにJR 麹町口が近くです)



平和を実現するようにとの招きを私たちは受けています。いのち、平和、人権。これらは教派を超えて祈りを  
合わせるべき大切な課題です。この度、エキュメニカルな取り組みとして、「日本カトリック正義と平和協議  
会」と「日本キリスト教協議会(NCC)平和・核問題委員会」とで、不公平の象徴である沖縄の基地問題につ  
いて、公開セミナーを開催することといたしました。私たちは宗教的な観点からと、学問的な観点からも、本  
当に基地は必要なのかということと、この基地問題は日米政府の核政策と無縁かどうかということ、また日本が  
本当に世界の平和のために貢献できることは何かということ、共に考える機会としたいと願っています。私  
たち両協議会は、これらの問題は核の戦後史と無関係ではないと捉えていますので、その面での詳しい講師も  
お迎えしました。加えて、この問題は極めて宗教的な課題です。ぜひ皆さんもご出席ください。

問い合わせ：日本カトリック正義と平和協議会 03-5632-4444

日本キリスト教協議会(NCC)平和・核問題委員会 047-362-4857

## 講師紹介😊



**木村 朗**（鹿児島大学教員、平和学・国際関係論専攻）北九州市小倉出身。日本平和学会理事、東アジア共同体・沖縄（琉球）研究会共同代表。主な著作は、単著『危機の時代の平和学』『市民を陥れる司法の罠』、共編著『終わらないく占領>』『20人の識者がみた「小沢事件」の真実』『21世紀のグローバル・ファシズム』『核時代の神話と虚構』、共著『広島・長崎への原爆投下再考』『核の戦後史』『誰がこの国を動かしているのか』『核兵器禁止条約を使いこなす』など。

**平良愛香** 1968年米軍施政権下の沖縄に生まれる。農村伝道神学校卒業。現在は同校にて教務に携わりつつ、ジェンダー差別や性的少数者の課題、平和・基地・沖縄の問題の講義を担当。立教大学、桜美林大学非常勤講師。平和を実現するキリスト者ネット事務局代表。日本基督教団川和教会牧師。



**高橋博子**（名古屋大学大学院法学研究科研究員、明治学院大学国際平和研究所研究員、アメリカ史専攻、博士号（同志社大学・文化史学）、日本平和学会理事、広島平和記念資料館資料調査研究会委員、第五福竜丸平和協会専門委員）第2回日本平和学会平和研究奨励賞を受賞。単著『新訂増補版 封印されたヒロシマ・ナガサキー米核実験と民間防衛計画』（凱風社、2012年）、共著『核の戦後史』（創元社、2016年）など。

**ウエイン バート**（カトリック那覇教区司教） 米国フィッチバーグ（マサチューセッツ州）生まれ。75年カプチン・フランシスコ修道会に入会し、1981年来日して日本語を学び、1983年に米国で司祭に叙階された。2000年から10年間、さいたま教区で神父を務めた外は、長く沖縄で司牧生活を送り、2018年2月12日に那覇教区の司教に叙階された。叙階式では、「日本人、米国人というのは外面的な違い。心は一つ。共に歩いていきましょう」とあいさつした。

